

日本大学藝術学部 音楽学科



Department of Music ,
College of Art , Nihon University



N^oU
Nihon University College of Art

Art

8つのアート
1つのハート



このパンフレット内に使用されている画像は過去のイベントのものが中心で、
2020年現在は感染症予防を考慮した授業・イベント形態となっております。

夢を語ろう。

「音楽」という素敵な共通語で、これからはじまる夢を語ろう。
あしたに向かってまっすぐに。あしたを信じて一歩ずつ。

CONTENTS

音楽学科のご案内

コンテンツ	P02
キャンパス	P03

各コースのご案内

作曲・理論コース	● P04
音楽教育コース	● P05
声楽コース	● P06
ピアノコース	● P07
弦管打楽コース	● P08
情報音楽コース	● P09

卒業生からのメッセージ

～日藝で良かった!!～	P10
-------------	-----

音楽学科のご案内

奨学金制度	P12
国際交流	P13
卒業生の進路	P14
オンラインで音楽学科を知る	P15
インフォメーション	P16
カリキュラム	P18
イベント	P20

教員一覧のご紹介

教員(専任)一覧	P21
作曲・理論コース	
音楽教育コース	
声楽コース	
ピアノコース	
弦管打楽コース	
情報音楽コース	

(2020年5月現在)

CAMPUS [キャンパス]



大ホール棟



音楽小ホール



音楽実習棟



食堂棟

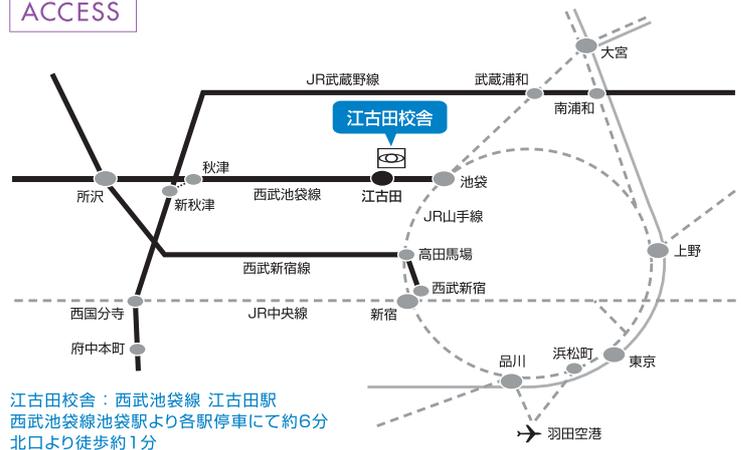
江古田校舎 EKODA CAMPUS

江古田校舎は南棟5F、6Fにある音楽レッスン室、コンピュータールーム、音楽療法セッションルームを中心として専門科目・実習等の授業を開講しています。東棟6Fには音楽小ホールが設けられ、授業のみならずコンサートや論文発表会などの場となっています。音楽実習棟では無料でピアノが練習できます。また、各棟は学科別に分けられていないので他学科との交流も活発に行われています。大学院の授業も江古田校舎で開講されますが、専門領域にとどまらず他専攻の授業も芸術関連領域として広く履修できるようになっています。



東棟・南棟

ACCESS



MAP





卒業演奏会(卒業作品の演奏)



音楽学I(早稲田みな子 講師)

COURSE of COMPOSITION and COURSE of MUSIC THEORY



作曲・理論コース

音楽のクリエイター達がのびやかな音の世界を創造しています。

作曲コース

自由でクリエイティブな作曲をめざして

ひとりひとりの学生に、自分自身の創作の世界を見つけ独創的で良質な音楽を生み出して欲しい、そんな考えのもと作曲コースでは、第一線で活躍する経験豊かな作曲家たちが、学生の個性を大切に丁寧な指導を行っています。クラシック音楽の作曲技法の学習をベースにしながら、現代音楽、日本の伝統音楽、民族音楽、映像や演劇の音楽、最先端のテクノロジーの学習などを絡めて創作の幅を広げて行くことが可能です。オーケストレーションや、作曲家の発想を演奏家に正確に伝える技術としての記譜法など、実践的な側面の学習にも重点を置いて、学生が作曲した作品を実際に音にしてみる機会も充実しています。映像などを絡めたコラボの授業も始まります。

Curriculum		作曲コース
▶ 作曲	▶ 記譜法	▶ 音楽作品分析
▶ 和声	▶ フーガ	▶ 編曲法

音楽の理論や歴史を学びながら音楽の本質や新しい可能性を探ります。

理論コース

学術的な切り口からさまざまな音楽を研究

理論コースでの研究の対象は、理論、作曲家、作品、楽器、歴史、文化、社会などと極めて多岐にわたります。授業では、それらを基礎から学ぶことが出来ます。3~4年では、各々の学生が選び取ったテーマについて、その領域のスペシャリストの指導のもとに研究を深め、卒業論文の作成をめざします。西洋音楽はもちろんのこと、日本の伝統音楽や世界各地の民族音楽、あるいは、音楽マネジメントや現代の音楽などについて学ぶ機会も充実しています。和声、作曲、音楽形式、作品分析などの学習、また、ピアノや声楽などの演奏技術の習得にも力を注いでいます。

Curriculum		理論コース
▶ 音楽学	▶ 音楽史	
▶ 音楽形式学	▶ 日本の伝統音楽研究	
▶ 民族音楽研究	▶ ポピュラー音楽研究	



INTERVIEW

● 北澤 郁帆 理論コース2年 ●

高校時代、私は「音楽がなぜ世界中の人々を引きつけるのか」という素朴な疑問から音楽学に興味をもちました。そして進路について考えたときに、クラシック系の音楽学はもちろんのこと、それ以外のアプローチの音楽学もかなり自由に学べる日芸の理論コースを見つけました。日芸の学生はさまざまなジャンルの芸術を学んでいて、日々いろいろな角度から刺激を受けることができます。学生生活中に、今まで知らなかった分野、映画や写真、美術に触れ、最終的には将来の可能性を広げることができるだろうと感じています。一年生のとき私は、日本の伝統芸能の一つである人形浄瑠璃に校外授業で触れたり、自分が興味を持っているテーマパークのBGMやパレードミュージック、映画音楽などについても基礎的な部分から勉強しました。先生方も一人一人の生徒に親身に対応してくださるので、毎日内容の濃い授業を受けることができ、自分では考えつかなかったアドバイスやお話を聞くことができています。音楽について知りたいことがある人、基礎から学びそれを深めていきたい人に日芸音楽学科の理論コースはオススメです。

応用行動分析学的アプローチ

Thへの暴力行為、楽器を叩かない

課題	目標	評価
シンバルのリズム打ち 作は時間経過を覚える	リズムを打てるようになる	好きなように 叩けるようになる 「おはよう」 「おはよう」
楽器のリクエスト	自分の楽器を 叩くことができる	自分の楽器を 叩くことができる 「おはよう」 「おはよう」
楽器のリクエスト	自分の楽器を 叩くことができる	自分の楽器を 叩くことができる 「おはよう」 「おはよう」

週一回のセッションがとても楽しみになっている、Thの指示に従う

卒業論文要旨発表会

特別講義(湯川れい子氏)

COURSE of MUSIC EDUCATION



音楽教育コース

生涯学習の時代にふさわしい音楽教育のあり方を探究します。

時代のニーズに対応する音楽教育はどうあるべきか。
新たな発想でその可能性を探求します。

音楽教育コースでは、中学・高校の音楽科教員の養成を行っています。本コースの特徴の1つは、音楽科教員として身につけておきたい音楽療法の知識とスキルが学べることです。近年、文部科学省はインクルーシブ教育を推進しており、学校現場ではさまざまな背景をもつ生徒に対応できる音楽科教員が求められています。音楽療法の視点に基づく知識や生徒への対応力などを身につけておくことは、音楽科教員として大きな強みとなるでしょう。また、従来の学校教育を基盤として、さらに柔軟な視点をもった音楽教育実習や学習指導要領に沿った雅楽や箏などの邦楽器が学べる授業もあります。新たな発想で音楽教育の「今」を見据え、これからの時代が求める音楽科教員を養成していきます。
*令和元年度以降の入学者は学会認定音楽療法士(補)の受験資格は取得できません。

Curriculum 音楽教育コース

- ▶ 音楽教育学
- ▶ 教育用楽器等合奏法
- ▶ 音楽教材演習
- ▶ 音楽教育研究
- ▶ 音楽療法研究



INTERVIEW

● 坂田 美彩 音楽教育コース3年 ●

私が日芸を選んだ理由は、音楽以外の芸術にも触れることができるからです。ある日学校に行ったらキャンパス内に彫刻物などの他学科の作品が展示されていること、大きなカメラや音声のマイクを持って撮影している人がいることは日常茶飯事です。このように日常的にさまざまな芸術に触れることにより、一層音楽の理解が深まり自分の表現に繋がります。音楽教育コースは教育と音楽療法のどちらも学ぶことができるコースです。音楽療法是障害をもった方や高齢者の方に向け音楽を提供することで、その方の心や体に良い影響を与えるというものです。「音楽の力」を目の当たりにすることができるので、とても面白い分野だと思います。また、教師になるためのピアノや声楽、合唱などの授業はもちろん、和楽器の授業も充実しています。このような実技の授業では専科さながらの手厚い指導を受けることができます。中学校で現役の教員をされている先生の授業では、実際の現場の声を聞くことができとても興味深いです。学ぶ環境はもちろんのこと、コースや学科を超えた個性豊かな仲間と共に送る大学生生活はとても楽しく充実しています！





第49回オペラ公演



第125回定期演奏会

COURSE of VOCAL MUSIC



声楽コース

声楽コースは、歌の大好きな人の集まりです。

一人一人を大切に指導し、「心に届く歌」を歌えるようにします。

声楽コースは、歌うことの大好きな人たちばかりです。大きな響く声で笑っていたら、それはきっと声楽コースの学生です。もちろん先生はもっと大きい声で、もっと響く声で、笑っているでしょう。

とは言え、大学の音楽学科で勉強して、歌うことのプロを目指している学生なので、基礎の歌曲からちょっと難しいオペラまで幅広く勉強し、お客様に歓びを分け与えられる歌手を目指して、日々精進しています。

語学や一般教養で人間を磨き、レッスンや合唱の時間、オペラ実習などで実践を重ね、オーケストラと共演したり、メイクをしてオペラの舞台に立ったりします。

きっと楽しい学生生活が送れることでしょう！

Curriculum

声楽コース

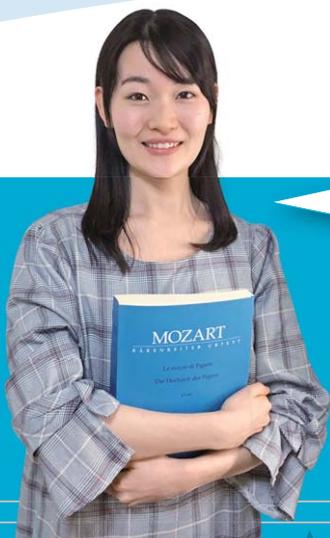
- ▶ 声 楽
- ▶ オペラ
- ▶ 合 唱



INTERVIEW

● 田辺 七星 声楽コース3年 ●

私が日芸を選んだ理由は、声楽のレッスンを見ていただきたい先生がいらっしゃったからです。夏期と冬期に行われる受験講習会に参加した際に、先生のご指導と優しく温かい人柄に感銘を受け、4年間この先生のもとで歌を学びたいと思いました。また、日芸では音楽科目以外にも他学科の授業や幅広い芸術教養科目を受けることが出来るのも魅力です。音楽を専門的に学んでいるだけでは知ることのない芸術の考え方や歴史などを広く楽しく学ぶことができ、音楽への解釈や表現面において助けになってくれているように感じます。声楽コースはレッスンの他に合唱、オペラ、音声学、外国歌曲研究、日本歌曲研究などがあり、幅広く専門的に学べます。中でもオペラの授業では沢山の先生方に見ていただきながら舞台上での表現や音楽作り、ステージマナーといった沢山のことを学べる充実した授業です。2年から院生まで受講するため、尊敬する先輩方からも学びながら声楽コース全体で仲良く高め合うことが出来ます。ぜひ日芸で楽しく爽やかな大学生活をおくりましょう！





第45回ピアノコンサート



第120回定期演奏会

COURSE of PIANO



ピアノコース

将来に向けた個々の志望を尊重し、
個人レッスンを基本とした教育を実践。

本コースの教育は、基礎を徹底的に見直し、豊かな表現と、個性あふれる演奏力を育成します。

ピアノコースは、徹底したマン・ツー・マン教育(個人レッスン)により、各自の志望を尊重しつつ、個性豊かな演奏能力の向上をめざします。ピアノを生かす道は、演奏家、伴奏者、指揮者などさまざまです。基礎的な訓練から、より高度な技術の習得に向けて、バッハから古典派、ロマン派、より高度な近・現代音楽にいたる段階的なレパートリーのカリキュラムをもとに、必要な表現力、ペダリング等の技術を学びます。それらの研究成果を、試演会の舞台上で発表し、研鑽を積んでいきます。また、試演会により、ピアノコンサート、定期演奏会、その他にも室内楽、2台ピアノ、連弾、ピアノコンチェルト等の発表の場が用意されています。

Curriculum

ピアノコース

- ▶ ピアノ
- ▶ 演奏論 I
- ▶ 演奏論 II
- ▶ 室内楽
- ▶ 伴奏法



INTERVIEW

● 石井 陽奈子 ピアノコース4年 ●

私は、高校2年生まで日芸以外の音楽大学への進学しか考えていませんでした。そんな私の日芸への進学の決め手は、たまたま近くにいたのでふらっと立ち寄った日芸祭でした。そのときは日芸のことを全くと言って良いほど知りませんでした。学校の敷地内に入ると、一人一人の個性が溢れており、そこにとても魅力を感じ日芸生になりたいと心に決めました。そのくらい一瞬で心を惹きつけてしまうくらいインパクトのある学校です。ピアノコースでは、先生によってレッスンの仕方も違い、その人に合ったレッスンをマン・ツー・マンでしてくれます。年に一度小ホールで試演会というものがあり、誰でも聴きに來れる試験なのでお互いを高め合う機会でもあります。専科以外の授業では、他の学科の生徒達との交流もあるので、色々な芸術の視点から物事を見ることもできとても楽しいです。ぜひ、この沢山の魅力が詰まった日芸で学校生活を送ってみてはいかがでしょうか。





第123回定期演奏会



特別講義(ユルク・ヴァシムス氏)

COURSE of STRING, WIND and PERCUSSION INSTRUMENTS



弦管打楽コース

実践に即した合奏授業を中心に、
各分野のエキスパートを育成します。

オーケストラ、ウィンドオーケストラなど発表の場を数多く設けて実践力を育成。

独奏、室内楽、管弦楽、吹奏楽などのさまざまな演奏形態への対応が求められる弦管打楽コースでは、各分野とも演奏の実践教育を中心に、少人数制による徹底した演奏家養成教育を行っています。指導にあたるのは、日本を代表するオーケストラの首席演奏者や、世界各国で開かれるコンクールで審査員を務める一流の講師陣。現場での体験を生かした実践的な指導により、演奏家としての高度な実力と実践力を養うことができます。オーケストラ定期演奏会や、ウィンドオーケストラの演奏会、室内楽演奏会など、発表の場がたくさん設けられています。

Curriculum 弦管打楽コース

- ▶ 弦楽器
- ▶ 管打楽器
- ▶ オーケストラ
- ▶ 吹奏楽
- ▶ 室内楽



INTERVIEW

● 飯間 惟加 弦管打楽コース (FI) 4年 ●

弦管打楽コースでは専門のレッスンをはじめオーケストラ、吹奏楽、室内楽などの実践的な授業が多数あります。現役で活躍されている先生方からアドバイスをいただける機会も多く、演奏技術の向上にもつながり、刺激もあります。自分の夢を持つ仲間と将来について語ったり、狭き門である自衛隊音楽隊に入隊する先輩を近くで見たりできるのも素晴らしい経験です。先生方も大学生生活や進路について、いつも親身に考えてくださいます。また他コース、他学科の授業にも自分の専門の楽器で関わることも魅力です。放送学科のスタジオ収録授業は、テレビ番組本番さながらです。テレビ局にあるカメラや音響システムと同じ機材やスタジオが日芸にはあり、番組出演者として演奏を撮影してもらった時は、一步プロの世界に足を踏み入れたようでした!映画学科の映像に音を付けるのをお手伝いしたり、弦管打楽コースの授業の他にも自分の演奏を生かせる場が沢山あります。また日本大学の付属校(全部で26校もあります)から演奏を頼まれ出向く機会もありました!音楽はもちろん、それぞれの場面で必要とされるお客様のニーズや反応を通し、様々な感覚がやしなわれます。音楽以外のマナーなども勉強になり、毎日が楽しく貴重な経験です。皆さんも日芸だからこそできる経験をし、一緒に大学生活を楽しみませんか!



情報音楽フェス SWITCH2019(音と映像のインスタレーション作品)



レコーディングの様子

COURSE of MUSIC INFORMATICS



情報音楽コース

Music + Science + Technologyで次世代の音楽文化創成を担う！
デジタル音楽表現の未来を作りたい若者よ、ここに集まれ！

最先端のカリキュラム、未来のあなたは活躍しています！

情報音楽コースでは、最先端の音楽情報処理技術を身につけ、これまでにない新たな音楽分野を開拓しています。コンピュータが日常生活に普及して、音楽表現のありかたや音楽ビジネスはここ数年大きな変容を遂げました。この状況に対応するため、情報音楽コースでは、音楽の学習とともに、音響学、音楽情報処理の徹底的な指導によって、最先端の表現を可能にする人材を育成しています。また、コンピュータによる音楽制作やスタジオ実習などを通じて、クリエイティビティの向上も目指しています。フランス国立音楽音響研究所 (IRCAM) や、IAMAS出身の教員による国際的にもトップレベルの指導のもと、ProToolsなどの音楽制作で広く用いられているソフトウェアはもとよりC言語、SWIFT、MAX、Arduinoなど、より専門的な研究のためのソフトウェアも授業で取り扱います。アーティストとして国内外で活躍する卒業生、AKB48などのアイドルグループの作曲家、ソニーミュージックエンターテインメント、エイベックス、ユニバーサルミュージックなどのレコード会社、セガ、スクウェア・エニックス、タイトーなどのゲーム会社、その他にも放送業界、IT業界、メーカーに多くの卒業生を送りこんでいる実績があり、4年間で学んだ表現力、研究開発力、実行力を世に証明しています。音楽の未来を作りあげよう！

Curriculum 情報音楽コース

- ▶ 情報音楽基礎
- ▶ 情報音楽実践
- ▶ デジタルコンテンツ制作
- ▶ キーボード・ハーモニー
- ▶ ボーカル・トレーニング



INTERVIEW

● 風間 香里 情報音楽コース2年 ●

音・音楽を聴く時、聴覚だけでなく五感のすべてで受け取っていると感じます。音の質と量、タイミング、体調、気温や色彩と形を含む環境、などの外的な要因と個人の来歴による内的な要因のバランスによって、時々で感じ方が変化するのだと思います。涙が溢れる、鳥肌が立つ、情景を思い描く、エピソードを思い出す、言葉に表せないような気持ちが湧いてくるなど、間接的に別の領域の何かが呼び起こされることもあります。私は、音楽が人に与える影響やより効果的な音の質と発信について学びつつ、音響解析や知覚認知研究などを通し、私たちの生活を音によって豊かにするという可能性について、探求し続けたいと思っています。ここでは、音楽制作をはじめ映像制作やインスタレーションなどの様々な表現ツールを取り込むだけでなく、それにより新たな表現方法を生み出すことも期待しています。また、他のコースや学科との交流を通して様々な視点に触れることで、新たな可能性を日々感じることができる環境です。



卒業生からのメッセージ ~日藝で良かった!!~

作曲コース卒業

作曲コースでは、自分自身にフィットする作曲スタイルを様々な方法で模索することができます。作曲を学ぶこと以外に、他ジャンルの音楽や芸術を知り、同世代の友人に刺激を受けながらとことん音楽と向き合うと、思いにもよらない発見や出会いがあります。その中で、たくさんの試行錯誤を繰り返し、挑戦を続けることで、自分自身が心の奥底から「作りたい!」と思える作品を探すことができます。大学での発表機会は、音楽ジャンルや編成の自由度が高いため、作りたい音楽をそれぞれに追求できました。私自身、毎回異なる編成で、調性的なものから、無調で即興的な作品まで、様々なスタイルで作曲し、それを記譜するテクニックを学ぶことができました。また、映画、演劇学科との交流を通して、芸祭や学校外のイベントのために作曲し、発表する機会もありました。当時、切磋琢磨に作品を作った仲間とは、卒業した今でも互いに刺激し合い活動の場を広げています。何よりも、学生のみなさんの内にある「作りたい!」という好奇心や探究心を大切に、広い視野をもってチャレンジしてみてください。

Profile 2017年日本大学芸術学部音楽学科作曲コースを卒業、19年同大学大学院を修了。修了作品及び副論文に対し湯川制賞を受賞。19年第35回現音作曲新人賞に入選、聴衆賞を受賞。第88回日本音楽コンクール作曲部門第1位、明治安田賞、三善賞を受賞。これまでに、作曲を伊藤弘之、菱沼尚子、小林純生、日置あゆみの諸氏に、ピアノを小島好弘、深沢雅美の諸氏に師事。現代音楽のスタイルを生かした、映像、絵本、ダンス等、幅広いジャンルとの共同制作によるパフォーマンスを実施する。長野県出身。



松本真結子
Mayuko Matsumoto

作曲家

教員

音楽教育コース卒業



本野 春菜
Haruna Motono

現在、私は特別支援学校の教員として働いています。日芸では音楽教育と音楽療法、どちらも学ぶ事でその経験が今にとっても生きています。音楽教育では学生同士で教師役と生徒役に分かれて模擬授業を行うなど、実践的な授業が多くありました。そのため、生徒にとって興味のもてる楽しい授業について考えることができました。音楽療法では実際にセッションを受け持つことで、音楽や対象者と真摯に向かうことの大切さや、その知識、技術を学ぶことができました。是非皆さんも将来につながる学びをここで探して見てください。

Profile 東京都出身。2014年、日本大学芸術学部音楽学科音楽教育コース卒業。在学中に音楽療法士の資格を取得。現在は埼玉県の特設支援学校の教育現場で教員として働いている。

※2019年度以降の入学者は音楽療法士(補)の受験資格は取得できません。

声楽コース卒業

私は、大学で音楽をとことん学びたいと思う半面、音楽だけの世界に身を置くことに迷いも感じていました。ですから、日藝のように、多くの芸術の一つとして音楽を学べる環境は理想的だし、集まってくる人たちも個性豊かで楽しそうだと思って入学を決めました。オペラの授業は、指揮者やコレペティ、演出家まで一流のプロの方が来てくださって、歌唱力や表現力、発想力を身に付けることができました。私が指導を受けた渡辺馨先生は、厳しいけれど愛のある方で、本当にたくさん叱られましたが、その何倍も励ましてくださいました。そんな恩師に出会えたことが、大学時代に得たもっとも大切なものだと思います。卒業後は、海上自衛隊に入隊し、横須賀音楽隊に歌手として所属しています。これまで全国各地での演奏はもちろん、日本のみならず世界各国(13カ国)で国際親善のための演奏も行いました。多くの出会いと経験を通して音楽の力に気付かされる毎日です。日藝は得意分野の異なる個性豊かな友人や先生方から刺激を受け、独自の芸術センスを磨くことのできる大学です。誰とも比べることなく、個性を活かし、自分らしさを求めてがんばってください。自分の目指す夢のヒントがきっと日藝に溢れていますよ。

Profile 岡山県出身。2009年、音楽学科声楽コース卒業。日藝時代は歌唱力を磨く一方、剛柔流空手道部で心身を鍛え、大学リーグで優勝。卒業後は海上自衛隊に入隊し、現在横須賀音楽隊に所属。自衛隊初の歌手として活動。東日本大震災の慰問演奏をきっかけに注目され、2013年、メジャーデビュー。アルバムは第55回レコード大賞、第28回ゴールドディスク大賞クラシック・アルバム・オブザ・イヤー、第6回CDショップ大賞クラシック賞、オリコン・ウィークリー・チャートクラシック部門1位を獲得した。おかやま晴れの国大使。第11回日藝賞受賞。



三宅 由佳莉
Yukari Miyake

海上自衛隊

日々、さまざまな分野で羽ばたいている日芸の先パイたち。 日芸で学んで良かったことや魅力について語っていただきました。

ピアノコース卒業

僕は日芸でとても広い意味で音楽の勉強ができたと思います。特に他学科の人と作品制作で関わった事が大きかったです。異なる専門分野を持つ人の音楽に対する視点は実に様々。時として僕達が作曲、演奏する上で大切にしてきたプロセスが全く意味を成さない事さえあります。こういった事に「音楽を学ぶ」立場である皆さんは戸惑うかもしれません。しかし、自分の学んでいる音楽的な知識や技術は、世の中の的には絶対ではない事を実践を通して知ることも「音楽の勉強」だと僕は考えます。音楽の基礎を学びながらこういった体験ができる場合は、日芸しかないのではないかと思います。

Profile 2014年、大学院博士前期課程音楽芸術修了。数々のピアノコンクールで受賞し、大学在学時よりアーティストのサポートや楽曲制作にて音楽活動を始める。またTwitter、YouTubeにてピアノの演奏動画を公開し、「バーでパレずに水戸黄門を弾く方法」がTwitterで100万再生を超える反響を得る。自身のバンド「アノアタリ」のメンバーとしてキーボード、作曲を手がける。



ピアニスト/
キーボー
ディスト

菊池 亮太
Ryota Kikuchi



相馬 慧直
Keiji Soma

教員

弦管打楽コース卒業

音楽学科の最大の魅力は少人数制だと思います。先生方が一人一人に向き合ってください、それぞれのペースに合わせてじっくりと指導していただきました。私は在学中、演奏家を目指して研鑽を積む一方で、教員免許を取得する授業や教育実習を通して、教職への憧れを持つようになり、現在は私立学校で教員を務めています。音楽の教科指導、吹奏楽部の指導・指揮者として、芸術に情熱を注いでいます。本コースは「演奏さえ上手ければ良い」ということではなく、人間的な総合力を身に付け、音楽だけに偏ることなく、芸術に対して多角的にアプローチすることができる環境が整っています。ぜひこの素晴らしい環境で音楽にひたすら打ち込む4年間を過ごしてください。

Profile 新潟県出身。音楽学科管弦打楽コース卒業、上越教育大学大学院修了。中学時代は運動部だったが、高校1年時に吹奏楽と出会い、バリトンサックスを担当する。以後、音楽に没頭し高校3年時に初めてアルトサックスを吹き、日芸受験を決意。日芸入学当初は、周囲とのレベルの差に苦しむこともあったが、手厚いサポートのおかげで無事に卒業。在学中はサックス科の後輩である西村ヒロチョ（お笑い芸人）らとカルテットを組むなどして演奏活動や学内施設を使つてのレコーディング等を積極的に行つた。卒業後はヤマハ新人演奏会、読売新人演奏会、新潟県新人演奏会に出演。自身の演奏活動の傍ら、楽器店講師や日本フィルのエキストラ奏者などを務める。2011年に日本大学第一中学・高等学校着任、2012年より芸術科主任。現在、一児の父。

情報音楽コース卒業

僕にとっての日芸での日々は、自問自答の毎日だったように思います。己の生み出した制作物や考え方について友人らと語り合い、好きなものを深掘りする毎日でした。いわば、同じ志を持った仲間との巡り会いの場だったと言えるでしょう。“好きなもの”を深掘りするということは、人生においてとても重要なことのひとつです。誰もひとつは持っています。幼少期からの記憶を遡り、今の自分へと線を引くと、くっきりと習慣に近い好きなものが浮かび上がってきます。その“好きなもの”を、一点の曇りの無いまっすぐな目線で見つめる、これが重要です。好きなものの探求とは、自分をより素晴らしいものにするのです。そして、情報音楽コースは、多角的な視点で音楽にとどまらない芸術に着目します。すべての芸術に対して柔軟かつ尊敬の姿勢を持ち、雑味も含めて吸収することができる唯一のコースだと思っています。要するに、無駄なことは一つもありません。新たな領域の門を叩き続け、そして自分の本質に迫ることが、想像もしない素晴らしい自分にさせてくれるはずです。4年間を存分に楽しんでください。

Profile 日本大学芸術学部音楽学科情報コースを卒業後、慶応大学院メディアデザイン研究科に進学。日本大学芸術学部在学中にYogee New Wavesを結成(2013年)。ギターボーカルとして作詞作曲とプロデュースを担当し、現代の都会におけるポップミュージックの進化をテーマに活動。1stアルバム『PARAISO』は年間ベストディスクとして各メディアで多く取り上げられる。2019年には全国14公演に及ぶワンマンツアーと、10都市に及ぶアジアツアーを開催するなど、活動の幅を世界に広げている。また、「セブンルール」をはじめ、CMのナレーションを担当するなど、その声にも注目を集めている。



アーティスト

角館 健悟
Kengo Kakudate

奨学金制度

外部の奨学金として国の高等教育修学支援制度、日本学生支援機構(月額2万円から12万円)、民間団体奨学金、教育ローンなどの選択肢がありますが、日本大学・日本大学芸術学部の奨学金も以下のような奨学金が用意されています。主に二つの基準で受給者が決定され「成績」「経済状況」が審査基準になります。ただし、国の高等教育修学支援制度の利用者は、各奨学金制度との併給ができない可能性があります。

優れた学生を奨励する奨学金

日本大学特待生

学部の学業成績・人物ともに優秀な2年次生以上の学生を対象にした制度

- 給付額
(甲種) 授業料半額+図書費(12万円)
(乙種) 授業料半額

- 採用予定人数
(甲種) 5名
(乙種) 26名(芸術学部内)

日本大学芸術学部奨学金(第2種)

芸術・文化に関わる創作活動において、専攻分野に関連した国際的又は全国的規模のコンクール・発表等で高い評価を受けるなど、優秀な成績をあげたと認められる在學生に給付する奨学金

- 給付額
50万円又は30万円

- 採用予定人数
若干名

日本大学芸術学部奨学金(第4種)

本部又は学部が設ける留学制度、海外研修制度などにより海外渡航する在學生(外国人留學生を除く)に給付する奨学金

- 給付額
東アジア地域 10万円
東アジア以外の地域 20万円

- 採用予定人数
若干名

経済支援を目的とする奨学金

日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)

成績・人格ともに優良な資質を持っているにもかかわらず、経済的理由により学費等の支弁が困難である在學生に給付する奨学金

- 給付額
30万円

- 採用予定人数
500名(日本大学全体)

日本大学芸術学部奨学金(第1種)

修学の意志があり、かつ優良な資質を持ちながらも経済的な事情で学業に専念できない在學生(外国人留學生を除く)に給付する奨学金

- 給付額
30万円

- 採用予定人数
30名程度(芸術学部内)

日本大学芸術学部奨学金(第3種)

学費支弁者が災害に罹災し、甚大な被害を受けた、もしくは不慮の理由で家計が急変し学費等の支弁が困難である在學生(外国人留學生を除く)に給付する奨学金

- 給付額
授業料を限度

- 採用予定人数
若干名

日本大学事業部奨学金

株式会社日本大学事業部からの収益を還元する目的として、経済的支援を必要とし、学業成績及び人物が優良な在學生(外国人留學生を除く)に給付する奨学金

- 給付額
24万円

- 採用予定人数
若干名

国際交流

日本大学は32か国1地域128大学等と学術交流協定等を結んでおり、学生の短期研修、交換留学などを行っています。学生の交換留学、短期海外研修は、日本大学国際交流課が実施する全学の学生を対象としたものに加え学部での特色を活かした海外留学も用意されています。交換・派遣留学生となるには、一定の水準以上の語学力を有する必要があり、選考試験を受け、派遣先大学から受け入れを許可される必要があります。

留学期間中の日本大学の授業料は、留学在籍料として年間12万円のみであり、交換留学生（派遣留学生を除く）は、派遣先大学の授業料が免除され、さらに留学の為に奨学金が支給される事があります。留学先の大学で修得した単位は、在籍中の学部や大学院において、履修科目の講義内容や時間数などを踏まえ、認定される事で卒業単位として認められます。



アメリカ交換留学（音楽コース、千葉南々帆さん）

交換留学先（英語圏）

【英語圏】

アメリカ：ワシントン州立大学、エリザベスタウン・カレッジ、ウェスタンミシガン大学（交換留学及び派遣留学）、アラバマ大学バーミングハム、ケント州立大学、ウェスト・アラバマ大学、カナダ：トロント大学、アイスランド：ピフロスト大学、アイルランド：メイヌース大学、オーストラリア：ニューカッスル大学、オーストリア：クレムス応用科学大学、スイス：北西スイス応用科学・芸術大学、スウェーデン：ストックホルム大学、デンマーク：オーフス大学、フィンランド：ラッペンランタ大学、中国：香港教育大学、シンガポール：ナンヤン理工大学

【中国語圏】

中国：北京大学、山東大学、鄭州大学
台湾：国立台湾大学、国立中興大学、国立政治大学

【ドイツ語圏】

ドイツ：ヨハネス・ゲーテンベルク大学、ベルリン自由大学

【フランス語圏】

フランス：アヴィニオン大学

【韓国語圏】

韓国：慶熙大学、高麗大学、延世大学

* 交換留学をしつつ4年間で大学を卒業する事は可能ですが、単位などを含め様々な点を考慮し、条件を満たす必要があります。詳細に関しましては芸術学部教務課及び日本大学国際交流課にお問い合わせください。

卒業生の進路

就職支援

日本大学は全ての学部で、各種講座等を通して、インターネット上の情報収集だけではカバーできない、リアルなコミュニケーションを尊重しています。芸術学部独自の進路ガイドブックも用意し、学生の夢を尊重したものになっています。また、日本大学のNU就職ナビに加えて、芸術学部の学生を対象にした就職指導講座も充実しています。



就職支援行事としては

1: 就職総合講座

就職総合講座では、多様でありつつも芸術学部らしい講座で、就職をサポートしています。(来年度以降変更がある可能性もあります)

就職活動入門講座／公務員紹介講座／企業研究講座／職業適性発見講座／インターンシップ講座／
筆記試験対策講座／自己分析方法講座／一般常識テスト対策講座／コミュニケーション力UP講座／
女子学生のためのメイク講座 ※女子学生限定／就職活動におけるマナー・身だしなみ講座／
履歴書・エントリーシート書き方講座／面接基礎講座／面接実践講座／
グループディスカッション直前対策講座／面接直前対策講座／マスコミ業界対策講座 など

2: 教員採用試験対策講座

3: 就職対策模擬テスト

4: 業界セミナー

などを取り扱っています。

音楽学科卒業生の進路先

本学科卒業生は、日本大学という大きな組織に支えられ、音楽専攻の教育機関としてはとりわけ多岐にわたる就職先を確保しています。

主な就職先(音楽関連)

一般財団法人ヤマハ音楽振興会、SNK、劇団ひまわり、劇団四季、埼玉第一興商、サウンドフィックス、島村楽器、タオ・エンターテインメント、日テレ・テクニカル・リソースズ、ビーイング、山野楽器、ヤマハミュージックジャパン、ヤマハミュージックリテイリング、ロッキング・オン、自衛隊音楽隊、消防音楽隊、ほか

主な就職先(一般)

アド・プロ、アリア・エンターテインメント、大島椿、カウンターワークス、キュアラボ、クラシエホームプロダクツ、創英コーポレーション、タンゴヤ、テアトルアカデミー、東京建物不動産販売、東通、ハイランドリゾート、ファイブフォックス、みずほフィナンシャルグループ、USEN Business Design、リオクリエイティブ、ほか

主な進路先(教育機関)

各種教育機関事務職員、幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、大学教員、海外留学、大学院進学

近年のデータです

オンラインで音楽学科を知る



日本大学芸術学部音楽学科公式ホームページ

ホームページでは、入試に関する情報や、各種イベント等、重要なものが公式に発表されます。講習会の情報などもこちらに掲載される予定です。



日本大学芸術学部音楽学科 ツイッター

ツイッターページでは、音楽学科の日常的な場面をお伝えしています。各種お知らせと共に、リアルな日芸ライフが紹介されています。



日本大学芸術学部音楽学科 YouTubeチャンネル

音楽学科のYouTubeチャンネルでは、演奏会やイベントの動画を投稿しています。実際の演奏を聞いてみたい、という場合はこちらのチャンネルをご覧ください。



日本大学芸術学部音楽学科 フェイスブック

フェイスブックページでは、ホームページに近いかたちでイベントや講習会の情報が掲載される予定です。



日本大学芸術学部音楽学科 インスタグラム

インスタグラムページは2019年度にリニューアルし、再スタートしました。写真を中心に、音楽学科の生活をお伝えします。



また上記以外にも、作曲・理論コース、情報音楽コースのホームページやツイッターページがあります。作曲・理論コースツイッターは「NUA作曲・理論コース」で、情報音楽コースツイッターは「日大芸術学部 情報音楽コース」で検索して下さい。

INFORMATION 【インフォメーション】

オープンキャンパス

日程未定 ※決定次第芸術学部ホームページでお知らせします。

芸術学部入試相談会

2020年11月1日(日)・3日(火・祝) 10:00～16:00(予約不要・入退場自由)

芸術学部祭を11月1日から3日まで実施していますので、
学生主催のイベントやキャンパスの雰囲気もご覧いただけます。

芸術学部入試博覧会

2021年3月21日(日) 13:00～17:00(予約不要・入退場自由)

当日は日芸の卒博を実施していますので、
学生の卒業作品やキャンパスの雰囲気もご覧いただけます。

日程については変更となる場合があります。
詳細については、芸術学部ホームページをご参照ください。

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>

芸術学部総合講座

新しい「芸術創造」を可能にする。芸術学部では、“総合芸術学部”としての魅力をより一層充実させるために、平成16年度から「総合教育プログラム」がスタートしました。全学科の学生が履修可能であり、学科の枠にとらわれない実践的、創造的なオムニバス式授業が行われます。

[2020年度開講科目]

- ・「広告企画実務」…………… 芸術総合講座 II
- ・「[(株)TYO冠講座]吉田塾～時代の波と広告～」…………… 芸術総合講座 IV
- ・「アート・マネジメント(展示系)」…………… 芸術総合講座 V
- ・「著作権と文化・メディア契約」…………… 芸術総合講座 VII
- ・「映像コンテンツプロデュース論-東北新社グループ」…………… 芸術総合講座 VIII

入学者選抜

●総合選抜型

※エントリー受付期間

2020年9月1日(火)～9月3日(木)

試験日：2020年10月25日(日)

合格発表：2020年11月4日(水)

●学校推薦型選抜(付属高等学校等、公募制)

試験日：2020年11月22日(日)

合格発表：2020年12月1日(火)

●外国人留学生・帰国生、 校友子女入学試験及び編入学・転部試験

試験日：2020年12月13日(日)

合格発表：2020年12月22日(火)

●一般選抜 N全学統一方式(第1期)

(※作曲・理論、弦管打楽、情報音楽コースのみ対象)

出願期間：2021年1月5日(火)～1月22日(金)

試験日：2021年2月1日(月)

合格発表：2021年2月19日(金)

●一般選抜 A個別方式(第1期)

出願期間：2021年1月5日(火)～1月30日(土)

試験期間：2021年2月9日(火)・10日(水)

合格発表：2021年2月19日(金)

●一般選抜 A個別方式(第2期)

出願期間：2021年1月5日(火)～3月2日(火)

試験日：2021年3月9日(火)・10日(水)

合格発表：2021年3月19日(金)

※詳細については、芸術学部受験用入試案内
及び芸術学部ホームページをご覧ください。

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>

一般入学試験要項は10月中旬頃日本大学ホームページ上で公開する予定です。
(日本大学ホームページ：www.nihon-u.ac.jp/admission_info/)
その他入試に関するご質問は入試係 [Tel:03-5995-8282](tel:03-5995-8282)までお問い合わせください。
音楽学科メールアドレス：ongaku@nihon-u.ac.jp



キャンパス見学について

芸術学部では、以下の日時にキャンパス見学を行っています。見学には事前予約が必要となりますので、ご希望の方は芸術学部入試係(TEL 03-5995-8282)までご連絡ください。なお、修学旅行等の学校行事による見学希望については、学校単位での受付とさせていただきます。



1 見学可能日時 月曜日～金曜日/9:00～16:00、土曜日/9:00～12:00

※夏期間(8月～9月中旬)については、月曜日～金曜日の10:00～15:00となります。※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は、見学を休止しております。
※芸術学部の諸行事や授業等の事情により、上記日時であっても見学いただけない場合、または、見学内容を制限させていただく場合がございますのでご了承ください。

2 見学の内容

芸術学部紹介VTRの視聴、学科担当者による学科施設案内及び説明(見学内容は学科により異なります)
※上記の他に映画学科(演技コース)及び演劇学科(演技・日舞・洋舞の各コース)の実技試験参考VTRの視聴も可能です。視聴希望の方は、見学予約の際にお申し出ください。

カリキュラムは2020年度のものになります。

デジタルコンテンツ演習	講師	安野 太郎
ソルフェージュ	講師 講師 講師	大槻 秀一 金田 典子 高橋 和江
指揮法演習	講師 講師	川本 統脩 田代 詞生
音楽教材演習	講師	清水 泰博
教育用楽器等合奏法	講師 講師	加藤 明 渡辺 圭一
音楽療法演習	教授 准教授 講師	土野 研治 大寺 雅子 八重田美衣

音楽療法実習	教授 講師	土野 研治 加藤美知子
ゼミナール	教授 教授 准教授 准教授 助教 助教 特任教授 講師 講師 講師 講師 講師	伊藤 弘之 川上 央 土野 研治 大寺 雅子 三戸 勇気 小林 純生 駒澤 大介 岩宮 眞一郎 江間 孝子 清水 泰博 中西 宣人 原澤 浩 茂木 一衛 茂手木 潔子

ゼミナール	講師 講師 講師	安野 太郎 湯浅 篤 早稲田みな子
教職実践演習	講師	松井 保雄
音楽科教育法	講師 講師 講師 講師	大槻 秀一 齊藤 厚子 清水 泰博 松井 保雄
教育実習事前・事後指導	講師	松井 保雄
音楽特別演習	教授	田代 幸弘

※2020年度は開講せず

取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状
- 高等学校教諭一種免許状
- 学芸員資格
- 司書資格
- 司書教諭資格

※2019年度以降の入学者は音楽療法士(補)の受験資格は取得できません。

音楽を学ぶ。そのために、整えられたカリキュラムはその充実した内容と、一流の講師陣により支えられています。

大学院

大学院芸術学研究科[博士前期課程]
音楽芸術専攻 授業科目と担当者

A 理論部門

音楽芸術特論Ⅰ	※	講師	平野 昭
音楽芸術特論Ⅱ	※	講師	平野 昭
西洋音楽史特論	講師	平野 昭	
情報音楽特論	特任教授	岩宮 眞一郎	
音楽教育特論	講師	澤崎 眞彦	
音楽心理学特論	准教授	大寺 雅子	

B 演習・実習部門

作曲特殊研究	教授	伊藤 弘之
声楽特殊研究	教授	斉田 正子
器楽特殊研究	教授 教授	田代 幸弘 萩原 貴子
音楽学研究	教授	伊藤 弘之
音楽教育研究	教授	土野 研治
情報音楽研究	教授 教授	川上 央 高久 暁
音楽理論研究	教授 教授 教授 教授 特任教授 准教授 准教授 准教授 講師	伊藤 弘之 川上 央 高久 暁 土野 研治 岩宮 眞一郎 大寺 雅子 三戸 勇気 吉野 大輔 江間 孝子
音楽表現研究	教授 教授 教授 教授 講師 講師	伊藤 弘之 斉田 正子 田代 幸弘 萩原 貴子 板倉 駿夫 稲川 榮一

	講師 講師 講師 講師 講師	佐々木 伸 高木 綾子 袴田 和泉 松本 明 楊 麗貞
--	----------------------------	---

音楽作品研究	教授 講師 講師	斉田 正子 今泉 久 上原 興隆
--------	----------------	------------------------

指揮研究	講師	今泉 久
------	----	------

C 関連領域部門

芸術学特論	講師 講師 講師	村山 匡一郎 鷺見 洋一 前田 富士男
リサーチ特殊研究	講師 講師	鈴木 保彦 松本 光
造形特論	講師	大西 若人
映像特論	講師	鳥山 正晴
映像構成特論	講師 講師	仲倉 重郎 相内 啓司
映像音響特論	講師	橋本 勝次
放送史特論	名誉教授	上滝 徹也
演劇史特論	講師	織田 紘二
舞踊史特論	講師 講師	貫 成人 丸茂 祐佳
民俗芸能特論	講師	宮尾 慈良
日本美術史特論	客員教授 講師 講師	金子 啓明 大熊 敏之 田口 文哉
西洋美術史特論	講師 講師	木村 三郎 高橋 幸次

文芸史特論	講師	立石 弘道
哲学特論	講師	藤田 一美
音楽文献原典講読	講師	北岡 晃子

D 連携研究部門

連携理論研究	教授	土野 研治
連携表現研究	教授	土野 研治

大学院芸術学研究科[博士後期課程]
芸術専攻 授業科目と担当者

A 理論・歴史研究領域

芸術学特殊研究	講師 講師	鷺見 洋一 藤田 一美
音楽理論特殊研究	教授 教授 講師	高久 暁 土野 研治 平野 昭
音楽史特殊研究	※	
芸術教育特殊研究	講師	澤崎 眞彦

B 表現研究領域

音楽表現特別研究	名誉教授 教授 教授 講師	峰村 澄子 田代 幸弘 萩原 貴子 楊 麗貞
----------	------------------------	---------------------------------

C 特定研究領域

芸術研究特別演習	教授 教授 教授 教授	伊藤 弘之 川上 央 高久 暁 田代 幸弘 萩原 貴子
----------	----------------------	---

※2020年度は開講せず



音楽学科主催演奏会



EVENTS

音楽学科イベントの最新情報は音楽学科公式ホームページをご確認ください

<http://music.art.nihon-u.ac.jp>

なお、日程は都合により変更になる場合がございます

Composition/Music Theory



伊藤 弘之 教授

- 1: 作曲・副科作曲/和声/記譜法/音楽作品分析/ゼミナール/音楽形式学/音楽学/音楽史/音楽表現研究★/音楽学研究★/作曲特殊研究★/音楽理論研究★/芸術研究特別演習★
- 2: カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院博士課程修了、博士(音楽)。
- 3: 芥川作曲賞他いくつかの作曲賞を得る。管弦楽、室内楽、独奏、合唱、邦楽、子供の歌等幅広い分野で数多くの作曲委嘱を受け、国内外で作品が頻りに演奏されている。CDは3枚の自作集CDを含む10点ほどがリリースされ、楽譜はリコルディ、全音、東京書籍等から出版されている。出版論文もある。芥川作曲賞及び日本音楽コンクール作曲部門審査員。



小林 純生 助教

- 1: 作曲・副科作曲/和声/ゼミナール/音楽概論/音楽文献原典講読/日本を考える
- 2: ケント大学大学院博士後期課程修了、博士(言語学)、一橋大学、日本大学芸術学部にて学ぶ。
- 3: 日本音楽コンクール、武満徹作曲賞、欧州文化首都プロトワフ国際作曲コンクールなどで入選、入賞。研究者としての専門領域は音声学、特に母国語が音の知覚にどう影響するのかを研究している。日本音声学会、日本音楽知覚認知学会、Acoustical Society of America各会員。

Music Education



土野 研治 教授

- 1: 音楽療法演習Ⅳ/音楽療法研究Ⅳ・Ⅴ/音楽療法実習Ⅱ/音楽療法特殊研究Ⅱ/ゼミナール/芸術総合講座Ⅲ「芸術療法」/音楽理論特殊研究★/芸術研究特別演習★/音楽理論研究Ⅰ・Ⅱ★/音楽教育研究★
- 2: 国立音楽大学音楽科卒業。
- 3: 日本音楽療法学会認定音楽療法士として、主に児童領域の音楽療法について多くの事例研究を行う。音楽教育振興賞、下総院音楽賞等を受賞。著書に「心ひらくピアノ」「障害児の音楽療法—声・身体・コミュニケーション—」(春秋社)他。日本音楽療法学会副理事長、日本芸術療法学会理事、日本演奏連盟会員、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構学位審査会審査委員。



大寺 雅子 准教授

- 1: ゼミナール/音楽療法研究Ⅱ・Ⅲ/音楽療法演習Ⅱ/音楽療法特殊研究Ⅳ/音楽文献原典講読Ⅱ/音楽理論研究Ⅰ・Ⅱ★/音楽心理学特論★
- 2: 東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻博士後期課程修了。博士(障害科学)。
- 3: 音楽療法士および臨床心理士として教育、研究、臨床活動に携わる。成人領域の音楽療法と学生相談を専門とする。日本音楽療法学会認定音楽療法士、米国資格認定委員会認定音楽療法士(MT-BC)、臨床心理士、公認心理師。

Vocal Music



齊田 正子 教授

- 1: 声楽/副科声楽/オペラ/音声学/音楽表現研究Ⅰ・Ⅱ★/声楽特殊研究★/音楽作品研究★
- 2: 東京芸術大学卒業、同大学院修士・博士後期課程修了、博士(音楽)。
- 3: イタリア歌曲・イタリアオペラにおける発声法及び歌唱法が研究テーマである。国際文化教育交流財団奨学生としてミラノに留学。ミュンヘン国際音楽コンクールなどで入賞。オペラデビューは椿姫のヴィオレッタで、その後多くのイタリアオペラや日本オペラに出演。日本演奏連盟会員、藤原歌劇団正団員。ジローオペラ賞・エクソンモービル音楽賞新人賞受賞 他。

Piano



田代 幸弘 教授

- 1: ピアノ/副科ピアノ/演奏論Ⅰ・Ⅱ/音楽表現研究Ⅰ・Ⅱ★/器楽特殊研究★/芸術研究特別演習★/音楽表現特別研究★
- 2: 日本大学芸術学部卒業、同芸術研究所修了
- 3: ピアノソングに限らず、新作初演、室内楽分野の演奏にも焦点をあてている。'05、'07年にリサイタル、'09、'11、'12年ピアノデュオコンサート、スウェーデンにて邦人作品演奏。'13年ウクライナ・オデッサにてウクライナ国際デュオフェスティバルに参加。デュオリサイタル開催。(財)日本ピアノ教育連盟評議員、日本演奏連盟会員。国際ピアノ・デュオ協会理事、北関東コンクール審査委員長 他。

String, Wind and Percussion Instruments



萩原 貴子 教授

- 1: 管打楽器/副科管打楽器(フルート)/オーケストラ/吹奏楽/室内楽(木管)/器楽特殊研究★/音楽表現研究Ⅰ・Ⅱ★/芸術研究特別演習★/音楽表現特別研究★
- 2: 東京芸術大学卒業、ミュンヘン音楽大学を経て東京芸術大学大学院音楽研究科修了。
- 3: 第61回日本音楽コンクールに於いて、当時史上最年少優勝、加藤賞受賞。ソリストとして国内外の主要オーケストラや演奏家とコンチエルトや室内楽を演奏する。日本コロムビアからCDデビューし注目を集める。*美空ひばりオン・フルート「愛燦爛」*カルメンファンタジー—2001*モーツァルトフルート四重奏曲集〜トルコ行進曲〜など録音活動は全24枚に及ぶ。全日本学生音楽コンクール審査員。大学評価・学位授与機構音楽部会委員、アジアフルート連盟理事。



竹田 香子 専任講師

- 1: 室内楽(金管)/オーケストラ/吹奏楽/管打楽器・副科管打楽器(トランペット)/自主創造の基礎/日本を考える
- 2: 日本大芸術学部卒業、同大学院修了。
- 3: 室内楽を中心に、教育機関等へのアウトリーチ活動を行い、若年層への芸術音楽普及及び支援活動に努めるほか、社会貢献活動としての演奏も定期的に行っている。楽器自体の音の響きや環境に依存した音の効果を最大限に生かした演奏と、他芸術との融合も積極的に取り組む。2009年、2012年、2015年、2018年の大地の芸術祭に参加。The International Trumpet Guild、音楽知覚認知学会各会員。

Music Informatics



川上 央 教授

- 1: サウンドデザイン演習/音響信号処理Ⅰ/イノベーション/ゼミナール/情報音楽基礎/情報音楽実践/ジャズ研究/情報音楽研究★/芸術研究特別演習★/司書=情報サービス演習
- 2: 東京大学教養学部中退後、日本大学大学院芸術学研究科修了。博士(芸術学)。
- 3: 2005年フランス国立音楽音響研究所(IRCAM) 招聘研究員として、パリ・モンパルナス駅のサウンドデザインを手がける。現在は音とテクノロジーを使ったブランディングの研究を行う。日本音楽知覚認知学会常任理事、日本音響学会音のデザイン委員会幹事。



三戸 勇気 准教授

- 1: ゼミナール/音響信号処理Ⅱ/音楽情報処理Ⅰ/情報音楽基礎/情報音楽実践/音楽知覚認知研究/音楽音響研究/レコーディング演習/スタジオ演習/R&D研究/芸術と心理Ⅱ/自主創造の基礎/日本を考える/音楽理論研究Ⅰ・Ⅱ★
- 2: 日本大学大学院芸術学研究科博士後期課程修了。博士(芸術学)。
- 3: 日本音響学会、日本音楽知覚認知学会、等所属。専門は音楽心理学やモーションキャプチャシステムを使用した演奏の動作解析など。日本音楽知覚認知学会理事、日本音響学会音のデザイン委員会幹事。



駒澤 大介 助教

- 1: ゼミナール/レコーディング演習/スタジオ演習/自主創造の基礎/日本を考える
- 2: 日本大学大学院芸術学研究科修了。
- 3: TBSテレビ、BS-TBS、アニメ・映画コメンタリーなど様々なVTRのMAを担当。その他にラジオ、PA、レコーディングのオペレーターも担当。日本音響学会所属。

日本大学藝術学部 音楽学科

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1 TEL:03-5995-8240

<http://music.art.nihon-u.ac.jp>

音楽学科ホームページ



Twitter

